

1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	山梨市三富川浦	地区名	枝沢 (エダサワ)	事業主体	山梨県																																							
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																										
<p>①課題・背景</p> <p>本溪流は、流域面積0.05km²の土石流危険溪流であり土砂災害警戒区域に指定されている。流域内は崩壊や溪岸浸食が進行し、溪床には不安定土砂、転石が堆積しており、台風や集中豪雨時には、土石流発生の危険が高まっている。保全対象には人家9戸、国道140号(第1次緊急輸送道路)、市道が存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす可能性がある。このため、砂防施設を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○土石流被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害実績 無 ・土砂整備率 0% < 70%未満※ ・重要公共施設の有無 有 第1次緊急輸送道路 (国道140号) (保全対象=人家9戸、国道140号240m、市道580m) <p style="text-align: right;">※評価基準値</p> <p>□副次目標 ー</p> <p>□副次効果 被災時の被害波及の防止 (緊急輸送道路)</p>				<p>妥当 妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>120 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7 ~ R11</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>107 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">983 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>105 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">180 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑止</td> <td colspan="2">219 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">47 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">537 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">9.2</td> </tr> </table> <p>※その他は、応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失)</p> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>				総事業費	120 百万円	工期	R7 ~ R11	基準年	R6	経済効率性	費用	107 百万円	便益	983 百万円		建設費	105 百万円	一般資産被害抑止	180 百万円		維持管理費	2 百万円	公共土木施設等被害抑止	219 百万円				人身被害抑止	47 百万円					その他※	537 百万円		B/C			9.2		
総事業費	120 百万円	工期	R7 ~ R11	基準年	R6																																									
経済効率性	費用	107 百万円	便益	983 百万円																																										
	建設費	105 百万円	一般資産被害抑止	180 百万円																																										
	維持管理費	2 百万円	公共土木施設等被害抑止	219 百万円																																										
			人身被害抑止	47 百万円																																										
			その他※	537 百万円																																										
B/C			9.2																																											
(2) 整備内容と整備量				(4) 事業実施・規模の妥当性																																										
<p>①整備内容</p> <p>小規模溪流向け杭式土石流・流木対策工 1基 H=7.5m L=22.4m</p> <p>②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和11年度</p> <p>④総事業費 約120百万円 (国費60百万円(5/10)県費60百万円(5/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table style="width:100%;"> <tr> <td>令和7年度</td> <td>詳細測量、詳細設計、地質調査</td> <td>20百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>用地測量、用地調査、用地取得・補償</td> <td>10百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9~11年度</td> <td>砂防堰堤工事</td> <td>90百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 				令和7年度	詳細測量、詳細設計、地質調査	20百万円	令和8年度	用地測量、用地調査、用地取得・補償	10百万円	令和9~11年度	砂防堰堤工事	90百万円	<p><input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>④事業実施・規模の妥当性</p> <p>流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>掘削量が最小限となり、地形改変が最も少ない工法を選定している</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/></p> <p>地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている</p>																																	
令和7年度	詳細測量、詳細設計、地質調査	20百万円																																												
令和8年度	用地測量、用地調査、用地取得・補償	10百万円																																												
令和9~11年度	砂防堰堤工事	90百万円																																												
総合評価				[貢献度ランク: a]																																										
(4) 事業位置図等																																														

